

紀州の名刀ここに集結！

重文太刀 真長作 野上八幡宮蔵

重文太刀 景長作 須佐神社蔵

太刀 三代国次作 粉河寺蔵

脇指 二代重国作 (個人蔵)

刀 安広作 (和歌山県立博物館蔵)

県指定刀 初代重国作 (和歌山県立博物館蔵)

特別展

きのくに

刀剣

ワールド

令和3(2021)年

4月24日(土)~6月6日(日)

開館時間 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(5月3日(月・祝)は開館、5月6日(木)は休館)

入館料 一般520円(420円)・大学生310円(250円) ※ ()内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者手帳の交付を受けている方、

および県内の学校に在学中の外国人留学生は無料

【主催】和歌山県立博物館 【協力】日本美術刀剣保存協会和歌山県支部

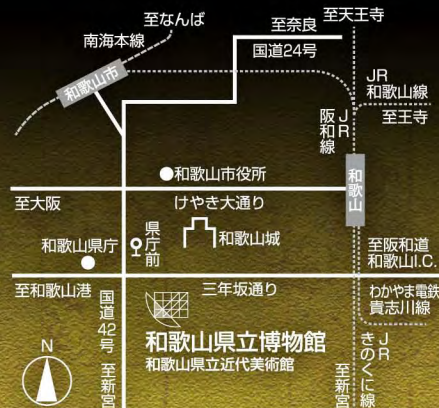
和歌山県立博物館

<http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>

〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-423-2467

WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

— 和歌山城・南側 —



◆JR和歌山駅・南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車、徒歩2分
◆和歌山ICから車で約20分 ◆和歌山港から車で約7分

特別展

きのくに 刀剣ワールド

きのくに-和歌山県においては、南北朝時代以来、刀工が作刀した作品が確認できるようになり、江戸時代にかけて、時代の順に入鹿鍛冶・粉河鍛冶・文珠鍛冶・石堂鍛冶という4つの刀工の系譜がみられます。

これら紀州の刀工の洗練された作品を中心に、寺社に奉納された刀剣も含め、名刀の数々、紀州の金工による刀装具を紹介します。当館において刀剣をメインテーマにした特別展は、39年ぶりの開催です。

【展示構成】

- I 入鹿鍛冶と粉河鍛冶 II 文珠鍛冶 III 石堂鍛冶と紀州の刀工
IV 奉納された名刀 V 紀州の刀装具



重文 太刀 守家作 糸巻太刀拵 (紀州東照宮蔵)



重文 黒漆小太刀 有次作 (滝尻王子宮十郷神社蔵)

関連行事

講演会「紀州の刀剣」

「古刀編」 5月9日(日)13:30~14:30

「新刀・新々刀編」 5月23日(日)13:30~14:30

講師：高屋健治氏(日本美術刀剣保存協会和歌山県支部 副支部長)

会場：和歌山県立博物館2階学習室

※事前申込制 先着各20名

4月24日(土)9時30分より電話(073-436-8670)で受付開始。

※新型コロナウイルス感染症流行の状況により、中止となる場合があります。

必要に応じて、事前にご確認下さい。

周辺博物館・美術館の展覧会

和歌山県立近代美術館 TEL.073(436)8690

企画展「疎密考」 4月24日(土)~5月30日(日)

コレクション展2021-春 4月24日(土)~7月4日(日)

和歌山市立博物館 TEL.073(423)0003

企画展「総持寺の至宝」 4月24日(土)~6月13日(日)

和歌山県立紀伊風土記の丘 TEL.073(471)6123

春期企画展「紀州の獅子と獅子頭」 3月20日(土)~5月9日(日)

脇指 安定作 (和歌山県立博物館蔵)

脇指 初代国次作 (粉河寺蔵)

重文 太刀 真守作 (紀州東照宮蔵)

県指定 初代重国作 (新宮市教育委員会蔵)